

奈良県感染症情報

平成 28 年 第 31 週(8 月 1 日～ 8 月 7 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(7月)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.97	(3.41)	↓	→	↓	↓
2	流行性耳下腺炎	2.03	(1.71)	↑	→	↑	↑
3	ヘルパンギーナ	1.71	(1.88)	↓	↓	↓	→
4	伝染性紅斑	0.76	(0.97)	↓	→	↓	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.68	(1.91)	↓	↓	↓	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

◆ 県内概況 ◆

流行性耳下腺炎(おたふく風邪)、伝染性紅斑(リンゴほっぺ病)はほぼ横ばいですが、例年に比べると報告が非常に多い状況が続いています。

また、例年秋から年末にかけて急増するRSウイルス感染症の報告が増えてきています。RSウイルス感染症は、2歳までにほとんどのヒトが感染しますが、乳児期、特に生後数週間～数ヶ月の子どもは重症化することもあり注意が必要です。年長児や大人では症状が軽い風邪程度のため感染している事がわからないこともあります。咳・鼻水などの症状がある人は、乳児との接触を避けることが大切です(平成26年36週気になる話題を参考にしてください <http://www.pref.nara.jp/secure/114779/wadai20140912.pdf>)。

◆ 病原体(ウイルス)検出情報(7月) ◆

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
アデノ 1		1			気管支炎(1)
アデノ 2		4			咽頭炎(1)、感染性胃腸炎(3)
アデノ 5		2			感染性胃腸炎(1)、下気道炎(肺炎)(1)
インフルエンザ B (ビクトリア系統)		1			インフルエンザ(1)
コクサッキー A4		7	2		インフルエンザ(1)、上気道炎(咽頭)(2) ヘルパンギーナ(2)、無菌性髄膜炎(1) 感染性胃腸炎(3)※
コクサッキー B1	1				感染性胃腸炎(1)
サポ		5		1	感染性胃腸炎(6)
ノロ GII		2			A群溶連菌咽頭炎(1) 感染性胃腸炎(1)※
ヒトメタニューモ		2			気管支炎(2)
ムンプス		2			流行性耳下腺炎・髄膜炎の合併(1) 無菌性髄膜炎(1)
ライノ A	1	4			その他(1)、急性気管支炎(2) 上気道炎(1)、発疹症(1)
ライノ C		1			急性上気道炎(1)

※重複感染

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 28 年 第 31 週 8 月 1 日 ~ 7 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	14	11	10	2	3	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	18 (0.53)		2 (0.22)	5 (0.71)	11 (1.83)			
咽頭結膜熱	10 (0.29)	3 (0.33)	3 (0.33)	2 (0.29)	2 (0.33)			
A群溶連菌咽頭炎	23 (0.68)	4 (0.44)	6 (0.67)	4 (0.57)	9 (1.50)			
感染性胃腸炎	101 (2.97)	21 (2.33)	26 (2.89)	23 (3.29)	31 (5.17)			
水痘	4 (0.12)		1 (0.11)	1 (0.14)	2 (0.33)			
手足口病	12 (0.35)	5 (0.56)	1 (0.11)		6 (1.00)			
伝染性紅斑	26 (0.76)	10 (1.11)	13 (1.44)	3 (0.43)				
突発性発しん	15 (0.44)	3 (0.33)	1 (0.11)	6 (0.86)	5 (0.83)			
百日咳	1 0	1 0						
ヘルパンギーナ	58 (1.71)	21 (2.33)	10 (1.11)	10 (1.43)	11 (1.83)	4 (4.00)	2 (1.00)	
流行性耳下腺炎	69 (2.03)	17 (1.89)	15 (1.67)	16 (2.29)	15 (2.50)		6 (3.00)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎	1 (0.10)			1 (0.50)				
流行性角結膜炎	6 (0.60)	1 (0.33)	4 (1.33)	1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	4 (0.67)		2 (1.00)		2 (2.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核10件(奈良市3、郡山4、中和2、吉野1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢2件(中和2) 梅毒1件(郡山1)



❖ 第 31 週のトピックス ❖

・中南米地域、米国マイアミ市、インドネシア、タイ、フィリピンなどで「ジカウイルス感染症」が流行しています！(厚生労働省:入国編)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000132388.pdf>

国内でのウイルス拡散防止のため、帰国後少なくとも2週間程度は、忌避剤(虫除けスプレー等)を使用するなどして蚊に刺されないようにしてください。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

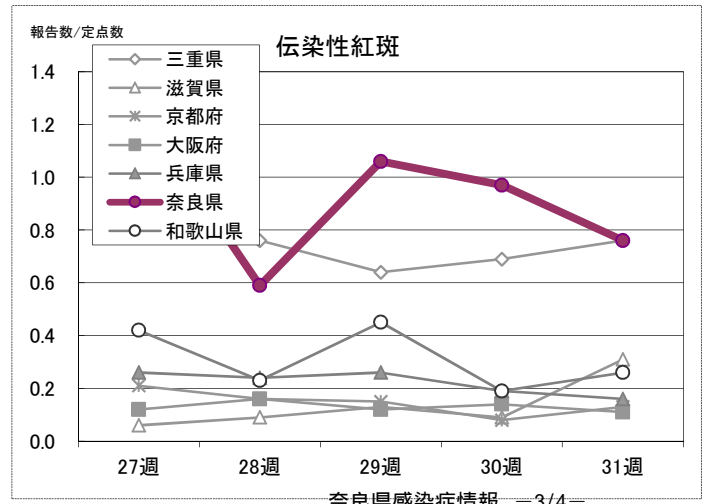
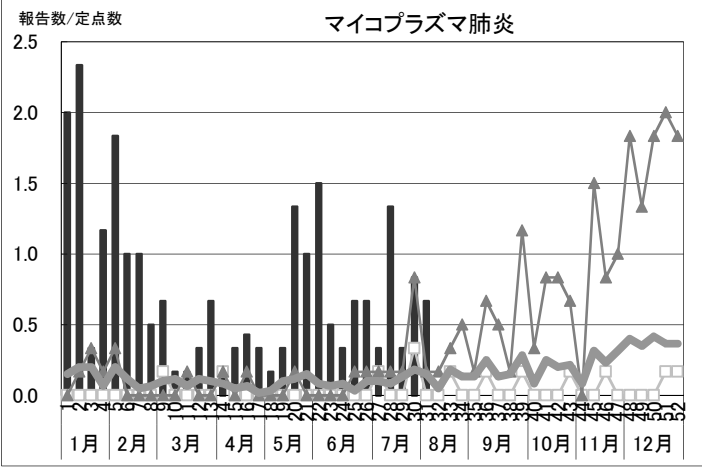
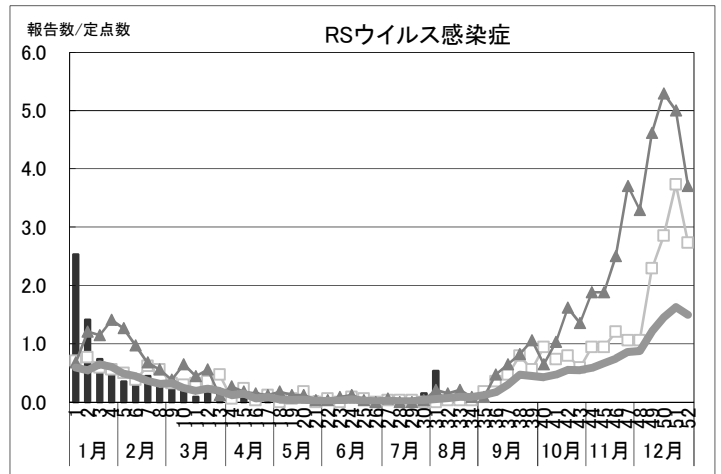
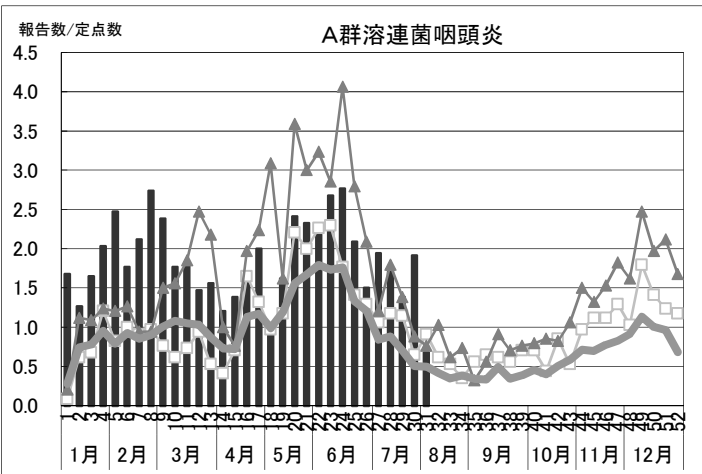
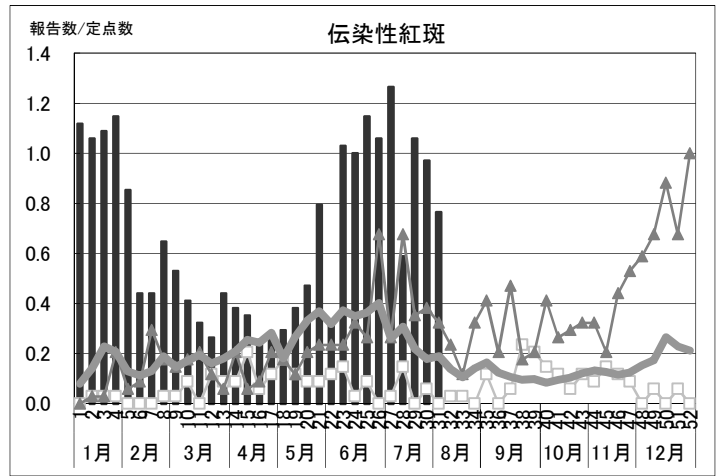
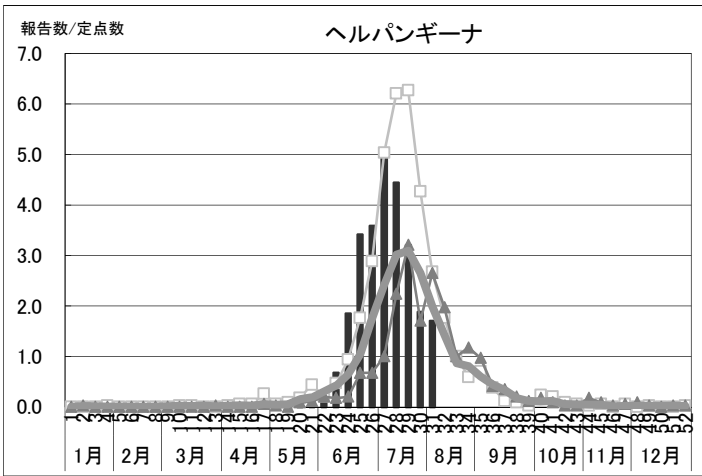
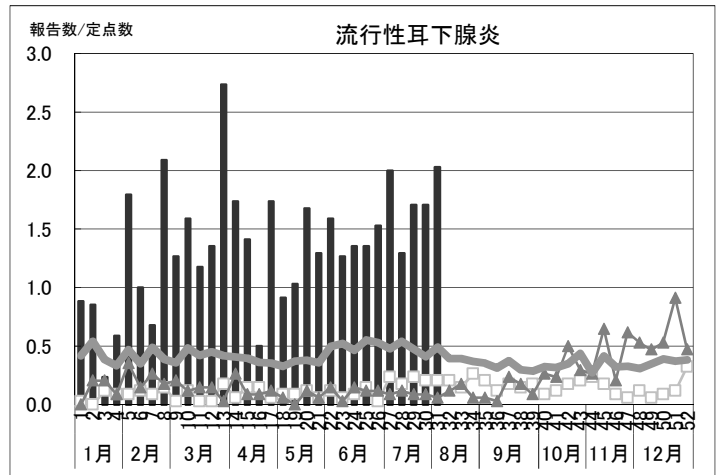
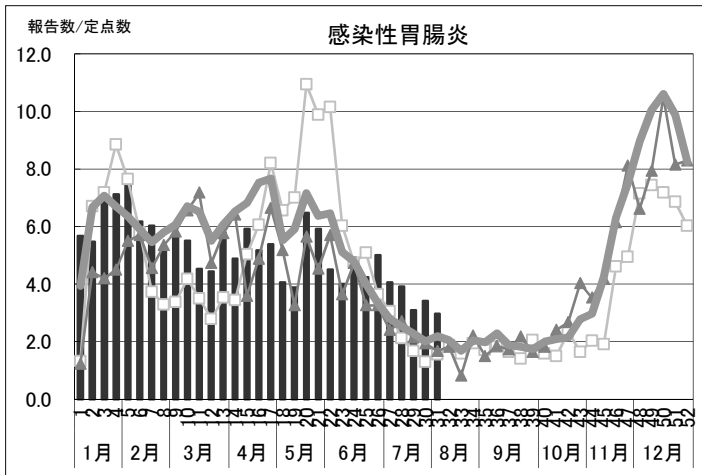
上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計			
インフルエンザ	男																						7742			
	女																							7517		
RSウイルス感染症	男			4	7		1																12	167		
	女		1		3		2																	6	142	
咽頭結膜熱	男			1	1				1	1		1	1											6	254	
	女								3															4	234	
A群溶連菌咽頭炎	男			2	1	1	1	3	2	1	2													13	1063	
	女			1	1	1	3	3				1												10	878	
感染性胃腸炎	男		2	6	7	4	4	7	3	3		1	3		5									45	2848	
	女		2	7	6	7	6	6	1	2	2		3		14									56	2536	
水痘	男						2	1	1															4	180	
	女																								4	134
手足口病	男		1	3		1	1	1																7	50	
	女			2	1			1				1												5	37	
伝染性紅斑	男			1	2		2	3		1														9	348	
	女				2	4	2	4	2						3									17	371	
突発性発しん	男		2	3	1																			6	288	
	女		4	4	1																			9	267	
百日咳	男																								1	4
	女												1												1	4
ヘルパンギーナ	男		1	5	9	10	2	4		1														32	484	
	女		1	1	6	5	7	3	1	1	1													26	419	
流行性耳下腺炎	男				1	3	5	10	4	4	3	5	4											39	770	
	女			1	1	1	3	8	4	6	1	1	3		1									30	670	
急性出血性結膜炎	男																							1	1	
	女																	1						1	2	
流行性角結膜炎	男			1												1	2							4	42	
	女																1		1					2	48	
細菌性髄膜炎	男		0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-							4	
	女																								3	
無菌性髄膜炎	男																								3	
	女																								2	
マイコプラズマ肺炎	男			1	1																			2	72	
	女					1							1											2	69	
クラミジア肺炎	男																									
	女																									
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																								53	
	女																								45	

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H28 ▲ H27 □ H26 〰 過去10年平均



中南米地域、米国マイアミ市、 インドネシア、タイ、フィリピンなどで 「ジカウイルス感染症」 が流行しています！



流行地域からの帰国者で心配な方は、検疫官に申し出てください

流行地域に渡航された方へ（帰国後の注意事項）



- ・蚊に刺されたというだけで過度に心配する必要はありませんが、心配なことや発熱等の症状のある方は、検疫所にご相談ください。
- ・国内でのウイルス拡散防止のため、帰国後少なくとも2週間程度は、忌避剤（虫除けスプレー等）を使用するなどして蚊に刺されないようにしてください。
- ・流行地域から帰国した男女は、性行為感染等のリスクを考慮し、症状の有無にかかわらず、最低8週間（パートナーが妊婦の場合は妊娠期間中）性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えてください。
- ・心配なことや発熱等の症状が出た方は、最寄りの保健所等にご相談ください。

帰国時の注意事項など詳しくは →

検疫所ホームページ FORTH
<http://www.forth.go.jp>

FORTH ジカ



ジカウイルス感染症

【症状】

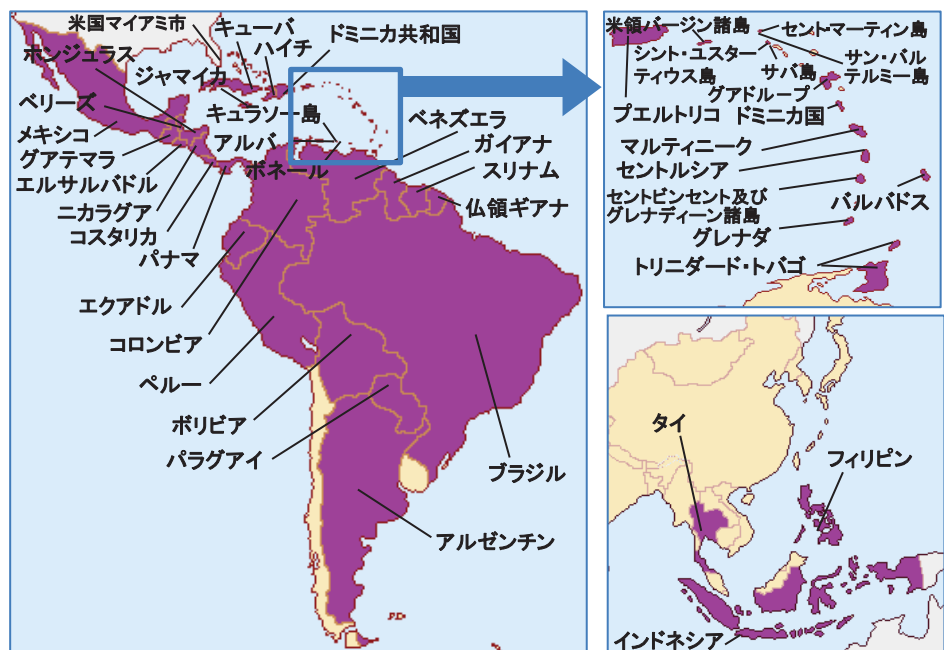
主として軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節痛、筋肉痛、倦怠感、頭痛など

【感染経路】

ジカウイルスを持った蚊がヒトを吸血することで感染します。輸血や性行為によって感染する場合があります。感染しても全員が発症するわけではなく、症状がないか、症状が軽いため気付かないこともあります。

【流行地域】

アフリカ、中南米、アジア太平洋地域で発生がありますが、近年は中南米で流行が拡大しています。また、中南米以外（米領サモア、フィジー、ミクロネシア連邦コスラエ州、マーシャル諸島、ニューカレドニア、パプアニューギニア、サモア、トンガ、カーボベルデ、米国マイアミ市、インドネシア、タイ、フィリピン）でも発生しています。



※平成28年8月2日現在 中南米及びアジアにおける流行地域

厚生労働省 検疫所

「蚊の用心 しているあなたも 日本代表」 夏の蚊対策広報強化月間 標語 優秀作品（大分県 大海 寛輝さん(37歳)）